

令和7年産

麦作情報 No.2

令和7年1月30日
JA 東びわこ営農振興課
(TEL 0749-28-7851)
湖東農業農村振興事務所農産普及課
(TEL 0749-27-2228)

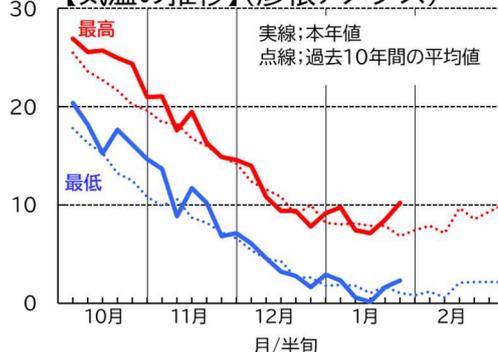
排水溝の点検・補修をしましょう！

後期重点施肥体系は2月上旬、ツータッチ体系は2月下旬に穂肥を施用しましょう！

11月中旬まで高温に推移したことや播種後の降雨が少なかったことで、生育は順調に進んでいます。麦の生育は、昨年ほど早いものの、平年よりやや早くなっています。

排水対策を徹底し、穂肥の施用効果が高まるほ場づくりを行きましょう。

(°C) 【気温の推移】(彦根アメダス)



【今後の管理】

●排水溝(明きよ)の補修・点検

- 溝が泥でふさがっていないか、ほ場を見回り点検しましょう。
- 滞水している場合は溝さらえを行きましょう。



溝が崩れて詰まっていると排水されません

●穂肥の施用時期

- 穂数確保のため、必ず穂肥施用を行きましょう(基肥一発体系を除く)。
- 施用時期の目安は、後期重点施肥体系では2月上旬から、ツータッチ体系や分施肥体系では2月下旬からです。

●雑草対策

- 2月末～3月上旬に雑草の発生状況を確認し、発生が多い場合は麦が繁茂する前に除草剤の体系処理を行きましょう。

【薬剤例】

エンドウ類

⇒MCP ソーダ塩

その他一年生広葉雑草⇒バサグラン液剤、ハーモニー75DF



エンドウ類幼植物

薬剤の散布にあたっては、ラベルを確認し農薬使用基準(使用時期・使用回数等)を遵守しましょう